



記録的な大雨 市内各地域で 猛威を振るう



④	②	①
⑤	③	

- ① 野津又川の氾濫により流出した土砂が流れ込む水田
- ② 暮見川の濁流により崩落した道路
- ③ 暮見川の濁流により崩落した護岸擁壁
- ④ 北野津又地区で発生した土砂崩れ
- ⑤ 皿川流域の伊波地区で浸水被害を受けた住宅の土砂の片付け

災害支援の寄附金を募集しています

商工文化課(市役所2階) ☎88-8117

現在、ふるさと納税サイトなどで「災害支援寄附金」を募集しています。

寄付の方法

①ふるさと納税ポータルサイトから寄附ができます。



楽天ふるさと納税



さとふる



ふるさとチョイス

②郵便払込票を使って寄附ができます。商工文化課(☎88-8117)までご連絡ください。



詳細はこちらで
ご確認ください

※いずれもお礼品の送付はありません

ハザードマップをご確認ください

総務課(市役所2階) ☎88-8125

防災ハザードマップには、河川の氾濫時に、浸水が想定される区域や浸水深、浸水が続く時間などが示されており、その他にも避難情報に応じた避難行動の目安、家庭でできる防災対策や防災情報の入手先、避難先一覧なども記載されています。

「広報かつやま」8月号と一緒に各家庭に配布しますので、家族でじっくり内容をご確認ください。



最新のハザード
マップはこちらで
公開中

令和4年8月4日午前、勝山市内は、「線状降水帯」の発生による非常に激しい大雨が降り続けました。勝山市は、市内全ての一時避難所を開設し、市内全域に対し避難指示を発令しました。あわせて災害対策本部を設置し、市内各地域で発生した河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水被害などの対応にあたりました。8月5日には天候が回復し、被害を受けた場所の復旧作業が始まり、午後8時30分に市内全域への避難指示が解除されました。

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。

(出典：気象庁ホームページより抜粋)

市民の皆さまへ

勝山市災害対策本部長
勝山市長 水上 実喜夫



8月4日午前中に奥越地方を襲った大雨は、極めて短時間に激しく降り続き、市内の河川は一気に増水、氾濫や土砂崩れを引き起こしました。

幸いにして人的被害はなかったものの、伊波区を中心に多数の家屋が床上、床下浸水し、北野津又区では土石流が発生しました。

市では、災害対策本部を設置し、連日職員が被災地域に入り復旧に向けた対応を続けています。

また、猛暑の中、災害ボランティアの皆さまが泥上げなどの作業に駆けつけていただきました。

市も全力で農地や用水路の早期復旧に努めてまいります。